



～ 恐ろしや！ 伝達表彰式 !! ～

11月12日(月)に各種大会及びコンクール等の伝達表彰が行われました。その数たるや何と57の団体・個人表彰です。

伝達表彰式は要所要所で行われますが、今回は9月から概ね11月初旬までの約2ヶ月間で受けた表彰です。紙面の関係で一つひとつ紹介はできませんが、主立ったものをここで紹介します。

文化部系の活躍が目立ちます。特に写真部の活躍はめざましく、出品すれば何らかの賞を獲得するという勢いです。また、久しぶりに放送部の活躍があり、演劇部も活動が認められはじめました。地道な努力の大切さを改めて痛感させられた思いです。



運動部系は、浦高が誇る空手道部が昨年度引き続き男女アベック総合優勝という快挙を達成しました。また、ボクシング部が学校対抗準優勝、女子ハンドボール部が準優勝、弓道部女子団体3位、女子水泳部総合3位となりました。さらに、女子400Mメドレーリレーは大会新記録で優勝するなど、個人種目で数多くの入賞を果たしております。特に嬉しかったのは、陸上競技部の活躍です。「第66回沖縄県高等学校駅伝競走大会」で男子総合第6位に入賞しました。このチームには陸上競技部のみならず、野球部、サッカー部員などが協力し出場しており、まさに2年越しの努力の賜です。昨年度、陸上部員が「競技大会に出場できることに感謝しています」という言葉はいまだに脳裏に残っています。



その他の文化系、体育系の活躍も多々あります。皆それぞれの活動に一生懸命取り組み、着実に進化しています。生徒のみなさんの活躍は、学校を元気づけ、浦添高校の評価をどんどん上げています。その中であって、校長としても勇気づけられ、浦添高校のさらなる発展に全力を尽くしていく所存です。校長

●重点進学拠点校●

浦添高校は沖縄県教育委員会より「平成30年度進学重点拠点校」に指定されております。この指定は県立高校60校中8校が指定されています。

“NEXT STAGE 第6号”でも記載しましたが、現代社会は「国際化、情報化の急速な進展により、社会構造が急速かつ大きく変化していること」また「知識基盤社会(新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会)の中で、新たな価値を創造していく力を育てることが必要」など、教育界全体で様々な改革が必要になっております。

浦高はこの指定を受け、先生方が力を結集し、授業の在り方を研究して実践すべく努力しています。そのため、教育委員会の指導主事や他校の先生方が多く訪れ、その様子を学びにきております。すべては生徒の将来を見据え、希望の“NEXT STAGE”を実現し、より良い社会を形成するための取り組みなのです。校長

\*\*\* 校長雑感 \*\*\*

歳を取ったせいか、やけに涙もろくなった。生徒の音楽発表やダンス発表、各種大会の試合等を見ていると目頭が熱くなる。“ここまで来るのに様々な努力やドラマがあったんだろうな”とか“先生方の指導が、やっと実を結んだな”とかいろいろ考える。気の利いたコメントもしたいけれど、胸いっぱい言葉が発することができない。困ったものである。

～～～ 時の言葉 ～～～

「いつも通り、優勝を目指して稽古してきたことが3連覇につながった。これからも進化していきたい」



喜友納 諒

(世界空手選手権・形3連覇者)

マドリードで行われた空手の世界選手権の男子形で3連覇を達成した喜友名諒選手が、羽田空港に帰国して取材に応じて語ったことば。

世界一になるという目標を持ち、ひたむきに努力を重ね結果を残した。3連覇をしてもなお進化したいという謙虚さは、東京オリンピックを見据えた決意の表れだと思います。校長

～忘れてはならないこと～

昨年11月15日、砂川拓輝君を交通事故で亡くしてしまいました。あれから1年が経ちましたが、心のダメージは消えることがありません。しかし、この事実を受け入れると同時に、2度とこのような悲しみを繰り返してはならないと強く誓わなければならないと思っています。

自転車の事故について前号で触れましたが、事故が起こったと報告を受けるたびに“同じ悲しみを繰り返してはならない”と思うのです。そのために私たちは信念を持って「交通安全」を実践していくことを誓うのです。このことを忘れてはなりません。

校長